

競技注意事項

1. 競技規則について

本大会は、2023年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定よって行う。

2. 入場・受付について

入場ゲート	
選手	Cゲートより入場
競技役員	1Fエントランスより入場し、学校・役員受付
引率責任者 同伴者	Cゲートより入場

3. 競技会場入場制限

*** 引率時、P1前または補助競技場前での選手の乗降は禁止です。大変危険なので厳守してください。**

<開門時間>

メイン競技場	両日とも Cゲート 7:30
補助競技場	両日とも 7:30

<入場制限>

	入場ゲート	競技場	補助競技場
選手	Cゲート	メインスタンド・1F通路	利用可
競技役員	1Fエントランス	競技役員控室 メインスタンド・1F通路	利用可
引率責任者 同伴者	Cゲート	メインスタンド	利用不可

4. 招集について

(1) 招集は現地招集とする。点呼を受けない者は棄権とみなす。

(2) 招集時間は次の通りとする。招集に遅れた者は棄権とみなす。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック種目	競技開始20分前	競技開始10分前
フィールド種目	競技開始30分前	競技開始20分前
棒高跳	競技開始60分前	競技開始50分前

<最終招集の手順>

- ・ 最終招集までに競技服装になっておくこと。
その際に、アスリートビブス(胸背腰)及びスパイクシューズの点検を受ける。
- ・ この招集を受けなかった選手は失格になる。
- ・ アスリートビブス(胸・背・腰)は招集までにつけておくこと。

<多種目同時出場届について>

- ・ 2種目に引続いて出場する場合などで、次の種目の点呼に出席できないような場合には、「多種目同時出場届」を競技者係に提出し、よく指示を受けておくこと。
- ・ ※届出用紙はHPよりダウンロードして各校で準備すること。

5. 競技運営について

(1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。

(2) (着順ではなく)時間を元にしてTR20.3.2によるランキングの順位が同じ

場合は、写真判定員主任は0.001秒の実時間を考慮しなければならない。

それでも同じであれば同成績とし、ランキングの順位を決める抽選を行う。

〔TR21.2〕

(3) トラック競技のスタートにおいて、「On your marks(位置について)」または「Set(用意)」の合図の後、音声その他の方法で、他の競技者を妨害したときは不適切行為とみなす。

〔TR16.5.3〕

(4) スタートにおける不適切行為は、TR16.5を適用せず注意にとどめる。

(5) 短距離走では、競技者安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。

(6) 競技場での競技前の跳躍・投てき練習は、競技役員の指示によって行うこと。

(7) フィールド競技のマーカー(主催者が準備したもの、または承認したもの)を、2個まで使うことができる。

マーカーが準備されない場合、粘着テープを使用してもよい。〔TR25.3.1〕

(8) サークルから行うフィールド競技では、マーカーを1つだけ使用することができる。

〔TR25.3.2〕

(9) 抗議は原則認めない。ビデオ等での抗議は対象としないこととする。

(10) 本大会は決勝は実施しないが、挑戦会を行う。

(11) フィールド種目は走高跳、棒高跳を除き3回の試技で行う。

6. 競技による入退場について

(1) 入場は競技の妨げにならないよう招集場所に行くこと。(すべてダグアウト及び1F通路を利用すること。)

(2) トラック競技の競技者は走り終わった者はバックストレート側ダグアウト及び1F通路を通り、スタート地点へ戻り

荷物を持って退場すること。その際、競技の妨げにならないようにすること。(※1F通路はスパイクを脱ぐこと)
 (3) フィールド競技の競技者は、競技役員の指示に従って退場すること。

7. アスリートビブス(胸・背・腰)について

- ・ アスリートビブス(腰)は各校で用意すること。(800m以上の種目を除く)。
- ・ 800m以上の種目は雨天練習場ナンバーカード係で貸し出す。競技終了後は、ゴール地点返却かごに戻すこと。
- ・ 競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス(胸・背)をつけなければならない。
- ・ 跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでよい。
- ・ アスリートビブス(胸・背)は通常はスタートリストに記載のものと同じナンバーでなければならない。
- ・トラック競技出場者は、アスリートビブス(腰)をランニングパンツ右側上部やや後方につける。

<1年生で準備ができない選手に対する対応>

- ・ 貸し出しを行う。(すべての種目。*挑戦会も含む)
- ・ 雨天練習場、ナンバーカード係の役員に参加種目・所属名・名前を伝えて借りること。
- ・ ゴール後、ナンバーカード入れのカゴに各自で入れること。

8. 用器具について

- ・ 競技に使用する用器具は、棒高跳用のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用しなければならない。また、練習用としても個人の用器具を競技場内に持ち込んではいけない。

9. 記録について

- ・ 記録については、貼りだしは行わない。
- ・ 記録に関してはアスリートランキングHPで行う。 <http://www.athleteranking.com/>
- ・ 速報は電光掲示にて発表する。 * アクセス集中時は閲覧を制限することがある。

10. ウォーミングアップについて

- (1) 補助競技場を原則とする。芝生内は一切、立ち入り禁止とする。
- (2) 引率責任者は補助競技場の利用・観戦はできない。
- (3) 競技場周辺での練習、駅伝試走等は禁止する。
- (4) ハードル練習について
 - ・ 補助競技場には設置しない。
 - ・ 個人のハードルの持ち込みは禁止する。また、競技場周辺でのハードル練習は一切禁止する。
 - ・ 両日とも7:30~8:40までメイン競技場に設置しているものを使用可とする。
* 挑戦会用の練習用ハードルは設置しない。
- (5) 投擲練習について
今大会は投擲練習場を設置しない。補助競技場や競技場内周辺での投擲練習は禁止とする。

11. 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方について

種目	性別	練習	競技
走高跳 (4種含む)	男子	1m25	1m30 1m35 1m40 1m45 1m50 1m53 … 以上3cmずつ
	女子	1m20	1m25 1m30 1m35 1m40 1m45 1m48 … 以上3cmずつ
棒高跳	男子	2m00	2m00 2m20 2m40 2m60 2m80 3m00 3m10 … 以上10cmずつ

- * 当日、練習・競技開始の高さは変更する場合がある。
- * 記録会形式で行うためジャンプオフは行わない。

12. WA規則第143条(TR5:シューズ)の対応について

- ・ 大会はWA規則第143条(TR5:シューズ)を適応する。
- ・ 規定シューズ以外のもを使用している場合は出場不可もしくは失格とする。

13. 競技場使用について

- (1) 競技場の開門時刻は両日とも7時30分とする。
- (2) 至近距離で大声を出す場合は、マスクを着用するなど留意する。
- (3) 本部前の通路は、役員以外の通行を一切禁止する。
- (4) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは必ず持ち帰ること。
- (5) 不審者や不審な行為をみつけた場合は、すみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (6) 選手・引率責任者は、メインスタンドを利用し、基本的な感染症対策を各自で行うこと。
- (7) サイドスタンド・バックスタンドへは立ち入らない。
- (8) 選手が競技場内にて携帯電話等電子機器を利用・撮影を行わないこと。

14. その他

- (1) 競技注意事項を熟読の上、円滑な競技運営ができるように協力すること。
- (2) 競技場周辺での場所取りや、待機場所として使用はすることは禁止とする。
- (3) 施設の備品を持ち帰らないようにすること。
- (4) 競技場内・周辺ではルールやマナーを守ること。
- (5) 発熱や体調不良がある者の大会出場については慎重に判断すること。
- (6) リザルトはWebに掲載する(掲示板への貼り出しはしない)。
- (7) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者で行う。
- (8) 競技会当日、午前6:00に神戸市に気象警報(波浪以外)が発令された場合、その日の競技は中止とする。